

小美玉にたくさんさんの「いいね!」を!!

みの〜れから 小美玉を元気に

立原さんは北海道で生まれ育ち、東京の音大で音楽を学ぶために上京してきました。子どもの頃から歌が大好きで、「中学う年生の時に合唱部をつくることになって、先生から部長をやってほしいと言われたんです。音楽の先生が歌を歌う方だったので、先生と二人で立ち上げて、最初の頃はコンクールに出場するとき部員が足りなくて野球部やサッカー部からも手伝ってもらったこともあります。運動部の人たちは声が出るんですよ。今でも出身中には合唱部があります。高校も合唱部が強いところに入りまして。一昨年はアピオスで行われたスターなりきり歌謡ショーに出演して準グランプリを頂きました。それから福祉施設のクリスマス会に2年連続で呼んでもらったり、柴高区の夏祭りやみの〜れで行われた昨年のさくらフェスティバルに呼んでもらったりと、少しずつ歌える場所が増え

てありがたく思います。また、柴高区の「ヨサコイ」10周年を記念して曲作りにも関わっています。これらは小美玉市で文化活動に関わってきたおかげだと思っ「す」と話す立原さんは、大学を卒業後、就職で茨城県に引越して結婚をして小美玉市の柴高区で暮らしながら地域文化の再発見活動もしています。昨年4月にさくらフェスティバルの実行委員として初めてみの〜れに関わりました。『facebook であなたを伝えよう!』の実行委員は知人から声がかかり引き受けました。

立原さんは「子どもにステキな小美玉を残していきたい」という気持ちで小美玉の良さを再発見する活動をしつつ、小美玉の文化が更に伸びていくことを願っています。北海道という別の土地で生まれ育ったからこそ分かる小美玉の良さがある。また、アンテナを高く張って多くの人たちに発信していきたいと思っ「す」と話してくれました。立原さんの facebook ページは探し回ったグルメスポットや地域の情報といった様々な話題を、素敵な写真と心のこもった



『facebook であなたを伝えよう!』実行委員
みの〜れデベロップスクール

立原 宏昌 さん

「色々な人が集まるみの〜れになってほしいですね」と笑顔で話す立原さん。

みの〜れと共に生活するスタイル

Minole Life

のすすめ

No.79

健やかに新しい年をお迎えの事と思います。本年もよろしくお願ひします。梅のつぼみが赤みをおびて少しふっくらしてきました。一年のなかで一番寒い時期ですが、少しずつ春の足音も近づいていますね。今回は『facebook であなたを伝えよう!』の実行委員で柴高地区にお住いの立原宏昌さん取材します。

コメントで綴り、大好きな小美玉を一人でも多くの人に届けたいと発信しています。

立原さんの休日は、「家族サービスです。普段できない分、私も家事をやるうっていう気持ちがあつて、休日はほとんど家事で終わってしまいます。あと、ドライブが好きで筑波山など様々な場所に出掛けて行きます。子どもにいろいろな物を見せてあげようと思っ「す」と話してくれました。